

購読の申し込みは
日本医労連へ
購読料 年間1,500円(送料込)
(組合員の購読料は組合費に含む)
送金口座 中央労金荒川支店(普通預金)1123296
郵便振替00160-6-84866
ホームページ <http://www.irouren.or.jp/>
電子メール n-ask@irouren.or.jp

医療労働者

医療・介護・福祉労働者の生活と権利、国民の命と健康を守る

1850号・1851号合併号
2025年5月22日
編集・発行
日本医療労働組合連合会
〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5
日本医療労働会館3階 TEL.03(3875)5871
発行 毎月2・4木曜日
(昭和36年9月15日第三種郵便物認可)

取り組み強めて大幅増員・処遇改善 —ナースウェーブ・介護アクション—



2025年「看護の日・看護週間行動」と「介護を良くするアクション月間(5月)」では、全国各地で様々な取り組みが行われました。たくさん寄せられた報告から一部をご紹介します。

大幅な賃上げで
人手不足の改善を

愛知県医労連は、4月26日に豊橋で「東三河ナース・メディカルウェーブ」、5月10日には名古屋で「ドクター・ナース・介護ウェーブ」をそれぞれ開催しました。

「東三河ナース・メディカルウェーブ」では38人が参加し、昨年を上回る規模となりました。日本医労連書記次長で看護対策委員会事務局長の松田加寿美さんから、看護師を取り巻く情勢や看護の歴史、世界との比較について講演を受けました。その後、豊橋駅前で署名宣伝行動を実施。リレートークでは10人から、現場の深刻な人手不足の状況や、職員の増員と処遇改善の必要性が語られ、道行く人々に署名への協力を呼びかけました。署名宣伝行動では、わずか40分ほどで119筆が集まりました。

名古屋での「ドクター・ナース・介護ウェーブ」では、43人が参加し、デモ行進しながら「看護と介護の質を向上させる為には、人材を確保する大幅な賃上げが必要」などと訴えました。



「ドクター・ナース・介護ウェーブ」名古屋市内をデモ行進の様子

責任の重さに
見合った賃金を

京都医労連は5月11日、四条烏丸交差点で「25春のナースウェーブ」を開催しました。「大幅増員・夜勤改善」署名宣伝行動を行い、35人が参加して46筆を集約しました。宣伝行動中のリレートーク

では、深刻な人手不足の中で強いられている過酷な労働環境について11人が訴えました。「長時間労働が当たり前となり、常に忙しい。本来行うべき看護が十分にできていないと感じる」「長時間労働に加え、患者のいのちを預かる責任の重さに見合わない低賃金では、働き続けることが難しい」など、現場の切実な声が相次ぎました。



「東三河ナース・メディカルウェーブ」豊橋駅前にて



京都

賛同の声相次ぐ
1時間で260筆
宮城県医労連は、5月11日に仙台市内で「メディカルウェーブ」を開催。60人が参加し、集会と署名宣伝行動を行いました。まず、仙台会館で開催された集会では、日本医労連中央執行委員で看護対策委員の齋藤由美子さんより、「ナースウェーブ(メディカルウェーブ)の歴史と署名の力を学び運動に活かそう」と題して講演を受けました。講演後は、仙台駅前に移動し、署名宣伝行動を実施。医療・介護現場では長時間労働により離



宮城

職者が増えていることなどを訴えながら、人材確保や賃金の引き上げ、夜勤回数の制限などを求めて「大幅増員・夜勤改善署名」への協力を呼びかけました。署名に協力してくださった方からは、「人員不足なんです。頑張ってください」「家族が救急車で3つも病院を回ってやっと入院出来ました」「看護師さんの人数はもっと必要だと思います」など、多くの応援メッセージをいただきました。1時間の署名活動で260筆を集約しました。

この取り組みにはtbc東北放送、朝日新聞、河北新報が取材に訪れ、報道されました。



山口

GNU(世界看護師連合)のプラカードを掲げる山口県医労連のみなさん

脈路

2014年6月、訪れる高齢化社会にも耐える医療提供体制を構築するため「地域医療構想」が制度化され、厚生労働省はこの間、公立・公的病院424病院を名指し、再編を求めていた。その後、10回の重点支援区域を選定し、13都道府県23地区に病床機能の再編支援を手厚く実施。地域医療総合確保基金の優先配分を行っている。そして今年は1床約200万円だったものを410万円に増額し大幅削減を呼びかけている▼診療報酬の引き下げで病院経営は苦しい。赤字を言い訳に、小竹町立病院福岡県は54床病床削減し、無床診療所にしようとしている▼組合員は町民に呼びかけ「町立病院を守る会」を立ち上げた。署名宣伝行動を行う中で、病院存続を願う町民が多いことがわかった。小竹町には町立病院しか入院施設はない。町長は「町を丸ごと病院ととらえ、各家庭を病床とみなし安心して最後まで我が家で暮らせる街をめざす」と言っている。高齢独居が多い町で、なぜそんなことが言えるのか。1床410万円が目くらんだのかどうかはわからないが、国のやり方はベッドを減らせれば、地域はどうなってもいいという提案としか思えない▼政府のやろうとしていることがわからない。国民の未来に光はあるのか。7月参議院選挙が行われる。大事な1票、考えて投票に行こう。

戦後80年の節目

憲法大集会

3万8000人が集う



晴天の中、会場埋め尽くす参加者

5月3日の憲法記念日、「憲法まもりいこう」と全国各地で憲法集会が行われました。東京では、有明防災公園にて平和といのちと人権を!5・3憲法集会実行委員会主催で開催されました。

開催にあたって主催者あいさつを行った菱山南帆子さんは、「今日は憲法集会はじまって10年目の節目の集会。いま、台湾有事を口実に戦争できる体制づくりが進められている。軍事に頼らない政治こそ真の人権保障であり、憲法精神そのもの。世界的な戦争の危機に晒されているいまこそ、憲法で平和を作り出すときだ。戦争のない平和な社会を実現するために奮闘しよう」と呼びかけました。集会でスピーチをした日本被団協(日本原水爆被害者団体協議会)の田中照巳(てるみ)さんは、「核兵器は絶対に使ってはいけない。非人道的な兵器だと訴えてきた私たちの思いをこれからは皆さんが担ってくだ

さい。80年に及ぶ私たちの努力を引き継いで、日本中、世界中に広げてほしい」と訴えました。

集会には、5野党(立憲民主党・日本共産党・れいわ新選組・社民党・沖縄の風)の国会議員が挨拶を行い、「LOVE憲法世界に平和を」「軍拡ではなくいのち・くらし」と書かれたプラカードアピールを参加者と一体となって行いました。

市民のリレートークの時間では、沖縄が抱える問題やジェンダー、国際連帯などそれぞれの立場から発言が行われました。閉会あいさつを行った憲法共同センターの小田川義和さんは、「大軍拡反対国会請願署名を上げ、7月の参議院選挙、総選挙の争点にあげてほしい。主権者として声をあげることが、社会を動かし憲法を豊かにする。今がとくくみを集中させるときだ」と呼びかけました。集会終了後は、豊洲と台場の二手にわかれてパレードを行いました。



ゴール地点での集合写真

5月6日、核兵器廃絶と被爆者擁護を訴えて広島・長崎をめざして歩く原水爆禁止国民平和大行進が始まりました。東京・江東区の夢の島で行われた出発集会には、600人が参加。核兵器のない世界に向けて声をあげていく意思を固めました。日本医労連からも全医労、全厚労、全日赤、全労災、東京医労連から約20人が参加。雨天にも負けず、1日目のゴール地点である日比谷公園までの約10キロを元気よく行進しました。

核兵器のない世界へ 国民平和大行進



岡山ではサウンドデモに初挑戦



メーデーでしっかり行動したあとは、桜の下で楽しくジンギスカンで交流!



北海道



福島



地域メーデーに参加した福島厚生連労組のみなさん

鹿児島



熊本



岩手



岩手では、メーデー会場で署名行動も行いました。

25春闘は全国各地で大幅賃上げをめざし、ストライキを構えたたたかいや、統一行動に結集した奮闘が続きました。そのような中、労働者の大幅賃上げ、食料自給率向上、大軍拡反対などを掲げ、第96回メーデーが開かれました。中央メーデーには1万4千人が集まったほか全国274カ所以上で開催され、集会での発言やデモ行進で世論に訴えました。

MAY DAY

第96回



中央



中央メーデー会場では、全医労がNHKの取材を受けました。全医労の前園むつみ委員長は取材の中で、人員不足により患者に寄り添った看護ができない現状や、国立病院としての機能をきちんと果たするための具体的な措置を国に求めていることなどを訴えました。

福井



愛知



愛知では、メーデーの様子がテレビ局5社で放映されました。医労連から登壇した南医療生協労組の看護師・柴田このかさんは、「看護師不足で、やらないといけない業務だけで手一杯。悲しくてつらい。このままでは、やりがいをもって働き続けられない」と発言しました。

茨城



岐阜



和歌山



「言いたい劇場」 小菅りや子



腰痛学習会の開催について

日本医労連・労働安全衛生対策委員会は、身体的不安と仕事の効率低下、および休業せざるを得ない要因ナンバーワンである腰痛について、下記のとおりオンライン学習会を開催します。

1. 開催日時
2025年6月10日(火) 18:30~20:00

2. テーマ
「腰は身体の要! ~腰痛を知って・備えて・上手につきあう方法教えます~」

3. 講師
日本医労連 花澤直樹中央副執行委員長
(理学療法士)

4. Zoom(参加費:無料)
ミーティングID: 992 3673 9550
パスコード: 124506

※事前登録制ですが、当日参加もOKです

- ＊ 腰痛体操もたくさん紹介
- ＊ 腰は身体のまさに“要”
- ＊ 腰痛を知って防いで上手につきあおう



【パズル解答】1849号の答えは「プラスチック」でした。正解者の中から抽選でクオカードを贈呈します。

【応募方法】①組合(病院)名、②職種、③氏名、④郵便番号、⑤住所を記入し、解答を6/19(木)までにご応募ください。「読者のページ」もご寄稿下さい。

【応募先】
〒110-0013 台東区入谷1-9-5
「日本医労連教育宣伝局」
FAX: 03-3875-6270
E-mail: n-ask@irouren.or.jp



日本医労連 第75回定期大会告示

日本医労連規約第10条、第11条にもとづき第75回定期大会の開催を下記の通り告示します。
記

- 開催日時
2025年7月22日(火) 13時30分~7月24日(木) 12時
- 開催地
おごと温泉 琵琶湖グランドホテル
〒520-0101 滋賀県大津市雄琴6丁目5-1
- 大会構成員
規約第13条により大会構成員を次のとおりとします
(1) 代議員 181名
(2) 特別代議員 青年協・女性協 各2名
(3) 役員 中央執行委員 38名
会計監査委員 3名
(4) 選挙管理委員 4名
- 大会議事
(1) 2024年度会計報告・会計監査報告
(2) 第1号議案「2025年度運動方針(案)」
(3) 第2号議案「大幅増員と夜勤規制をめざすアクションプラン(案)」
(4) 第3号議案「2025年度予算(案)」
(5) 第4号議案「規定の改正に関する提案」
(6) 日本医労連共済「事業報告、事業方針」
(7) 2025年度日本医労連役員選挙
(8) その他

※詳細は医労連発第194号を参照してください

■ヨコのカギ

- 歌麿・写楽・北斎・広重と言えは?
- 周辺を警戒する……番
- 目に見える範囲
- 台所用品などに使われるサビにくい鋼材
- 陶器作りに使う回転台
- わらで作ったロープ
- 物事を進める方向
- 卵で食べられない部分
- 唐辛子は、……願寺
- 肉体的、精神的な緊張や圧迫。……がたまる
- 「N」で表す方角
- 物のある所。宝の……
- 運動競技者
- 紙……。ボロ……
- 布などをぬう機械
- 「鬼灯」の読み方は?



- 24 23 21 19 18 16 15 14 11 9 6 5 4 3 2 1
- 【問題】二重ワクの文字を、A~Fの順に並べてできる言葉は、なに?
- タテのカギ
- ……の正面だあれ
 - 「台本」「シナリオ」とも言います
 - しやMよりも小さい人々の間に伝わる昔話
 - よい天気です
 - 企業の人員削減
 - 貸しビルなどの借り主
 - 厳寒に咲く……梅
 - 姉妹を英語で言うとは?
 - ごく軽いヒフのきず
 - 米国フロリダ州の海岸
 - 有名な観光保養都市
 - 中がほぼ生のステーキ
 - 中国の神話上の動物
 - ……も山のにぎわい
 - 握り・押し・五目など歩いて行くこと

後遺障害も大きな魅力

後遺障害の給付手厚い
医労連共済の魅力のひとつに入院給付・休業給付があり、医労連共済加入者の多くがセツト7型十医療16口で加入して、入院1万円・休業5千円の保障を準備しています。しかし病氣・ケガの保障は入院給付・休業給付だけではありません。医労連共済は後遺障害の保障が魅力です。

他にはない大きな保障
CMでみる〇〇共済や民間保険でも後遺障害の保障はありません。しかし多くが「病氣・ケガの場合は高度障害

医労連共済だより

後遺障害は死亡保障の額を最高保障額として等級で給付額が決まります。同じ等級でも加入型式で給付額は変わります。加入の際の参考にしてください。

医療の眼

2交替シフト制の夜勤5割超に

日本医労連は7月の定期大会で、1月の中央委員会に予備提案した「なこそうー長時間夜勤アクションプラン」(大会では「大幅増員と夜勤規制をめざすアクションプラン案」を本提案します。

大幅増員や夜勤規制は医労連の取り組みのなかでも最重要課題であり、とりわけ夜勤問題は24時間・365日切れ目のない医療・介護・福祉を提供するケア労働者の労働環境を考える上で避けては通れない課題でもあります。その夜勤労働に大きな変化が生じています。2024年度夜勤実態調査(月刊医療労働12月号)では、8時間以上の長時間勤務となる2交替シフト制による夜勤(以下、2交替夜勤)の割合が1982年の調査開始以来、初めて5割を超えました。看護協会の調査(2024年病院看護実態調査報告書)でも圧倒的に2交替夜勤が多くなっており、長時間夜勤が広がっていることが明らかになっています。

夜勤の有害性と夜勤従事者の意識
そもそも、夜勤労働自体が人間の生体リズムに

反する働き方になるため、有害であることが海外の研究によって明らかになっていきます(「健康リスク」)。また、長時間働くこと自体も、健康にとって良くないことは自明です。それなのに、2交替夜勤が広がっている背景には、シフト制労働には生活(リズム)との関係で働きづらが生じる(生活リスク)という、夜勤に従事する者にとって切実な問題があります。

学習を深め、より安全でリスクの少ない夜勤労働を追求しよう

一般的に、始業・終業のパターンが多くなれば多くなるほど、仕事から受ける制約も多くなるため自分の生活の自由度は低くなります。そのため健康リスクを考えた正循環による3交替夜勤のモデルとなる「準夜勤→休日→深夜勤」という働き方は、「休日」が疲労回復と深夜勤の準備に費やされ、本来の「自分の自由な活動時間」とはほど遠くなってしまう。自分の「休日」は自分のために使いたい、でもそうすると夜勤に影響するというジレンマが、健康リスクの高い2交替夜勤を選択させるのではないかと考えられます。夜勤従事者の意識のなかでは、「働きづらさ」として実感する「生活リスク」は、「生活習慣病」や「発がん性」のような長年の夜勤経験のなかで蓄積され、発現する「健康リスク」より「解決したい問題」として勝ってしまうのです。

アクションプランを成功させよう
夜勤労働に伴う有害性などのリスクはなくなることはありません。「2交替夜勤の方が働きやすい」「3交替夜勤の方が疲れなくて安全」という議論だけでは、一部分のリスクを回避しているだけで、リスクそのものを低減することにはつながりません。その意味では、日本医労連が要求する「準夜勤→勤務免除→深夜勤」は「生活リスク」の低減につながります。例えば、夜勤の科学的な知見をもとにまとめられた国際基準「ルーテンフランツ9原則」には「勤務時刻は個人レベルで融通性を」という原則や「夜勤は短くする」という原則があります。これらを